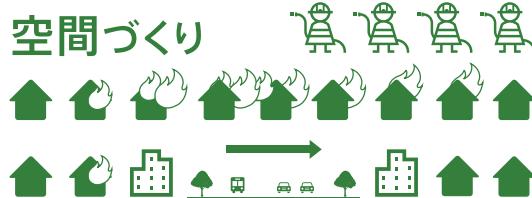
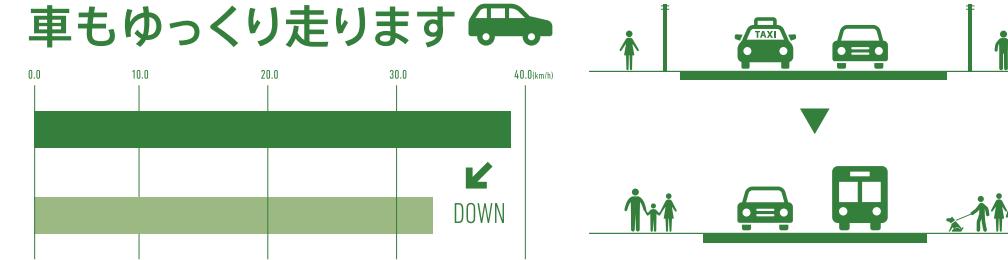


火を通さない
空間づくり

運行本数
の増便 **10** 分間隔

発行
全国街路事業
促進協議会

会員数
987 自治体
平成30年11月

<http://www.gaisokkyo.jp>



無電柱化&
シェアドスペース
歩車共存
の空間づくり

生活道路の
安全性向上

歩く人が
増えました
8.7 倍

-42% | -1,500台


お店も
増えました
約2倍UP




歩道も空も広々と♪ 沿線に住む人
乗り場の増設 **5**か所  **1.29**倍

利用者の増加 新たな移動手段 楽しく 所要時間短縮

平日 約**2.1**倍 

休日 約**3**倍 

50代以上 **UP** 消防活動 がしやすい 

92.3% 

歩ける **-48%** 

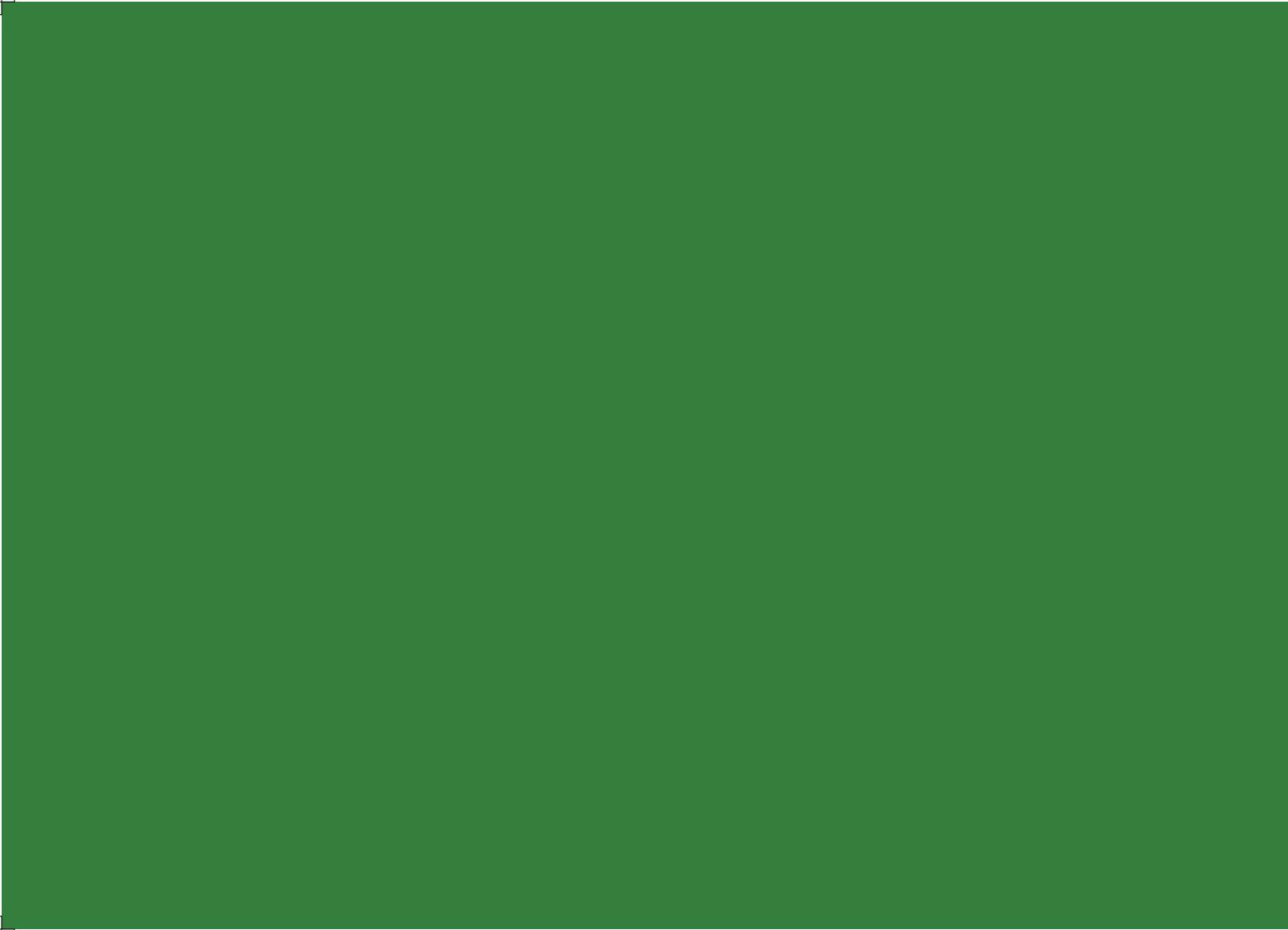
自動車・
バスから **ライトレール**



環境に 優しく **-436** 削減
トントン/年間 

低床車両の導入 **100%** 

道をつなげる
人がつながる
- 街路事業のストック効果 -
Stock Effects Pamphlet



ストック効果

継続的に、幅広く、中長期にわたって得られる効果

生活の質の向上効果

-主な効果事例-

- バス・鉄道の本数・便数の増加
- 住居系地価の上昇
- 温室効果ガスの排出量の減少

安全・安心効果

-主な効果事例-

- 生活道路の交通量の減少
- 交通事故件数の減少、踏切事故の解消
- 災害時の代替機能の確保

生産性向上効果

-主な効果事例-

- 企業立地件数の増加
- 求人・雇用者数の増加
- 観光消費額の増加

電線をなくし 人と歴史が よく見える

景観への配慮

人・まち・車への配慮をすることで
街が賑わいを取り戻しました。



事業概要

事業名称 : 神門通り線
路線名 : 神門通り線
事業箇所 : 島根県出雲市大社町
事業延長 : 330m
幅員 : 12m
事業費 : 約16億円
事業期間 : 平成22年度～平成24年度
第26回全国街路事業コンクール 優秀賞受賞

事業効果

歩道も空も広々と♪

出雲大社へつづく道を無電柱化したことと、安心して歩けるようになりました。また、電線も無くなり、すっきりとした景観になりました。



歩く人の 増加

休日だけでなく平日も、今まで以上に大勢の歩行者で賑わうようになりました。

8.7倍↑

H21とH25*の平日の比較
※H25は出雲大社の本殿遷座祭



お店の増加

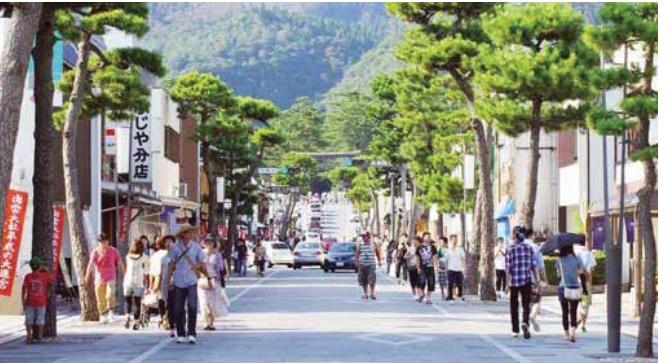
歩行者も増えたことで、店舗も増え街に活気が戻りました。

約2倍UP

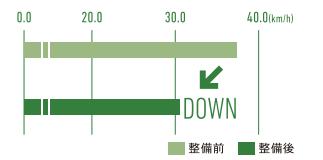
38店舗 (H22)



75店舗 (H29)



車もゆっくり 走ります



歩行空間を拡げ、車道を狭くしたことにより、整備後の自動車平均速度が低下することが確認されました。

まちの変化



無電柱化 +

シェアドスペース

=歩車共存の空間づくり

Before



After



神門通りは、島根県の代表的な観光地である出雲大社の参詣道として約100年前に開設され、沿道は参拝客の往来により栄えてきましたが、車社会の到来により、歩行者の往来が減り、かつてのにぎわいが失われつつありました。このため、出雲大社の門前にふさわしい風格と、にぎわいのある通りとしての再生を目指すことを目的として、整備することとなりました。整備にあたっては、沿道住民の生活交通の利便性と、観光客が楽しみながら歩くための安全性向上を両立することが求められていました。そこで、景観を阻害する電線を地中化し、現道幅員のままで、歩行者と自動車の双方の安全意識を高め注意を促す、という考え方方に基づく「シェアドスペース」という整備手法を取り入れ、人と車が空間を共有する歩車共存空間を創出しました。

楽しく歩ける そんな道路を つくりました

幹線道路をつなぐ新たな道路がつくられたことで

生活道路への流入が抑制されました。



事業概要

事業名称 : 東京都市計画道路補助第46号線整備事業

路線名 : 補助第46号線

事業箇所 : 品川区小山台一丁目～目黒区目黒本町三丁目

事業延長 : 600m

幅員 : 20m

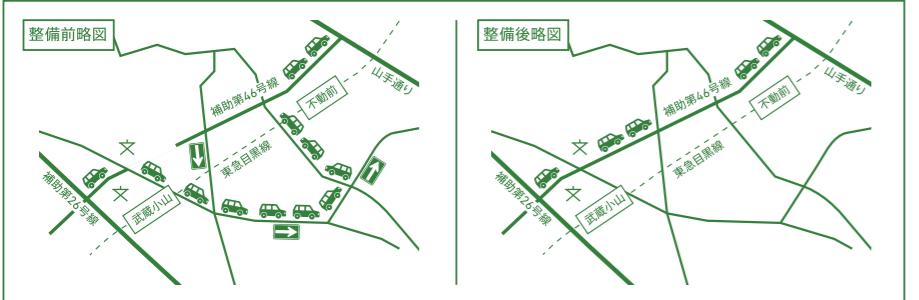
事業費 : 約141億円

事業期間 : 平成3年度～平成24年度

第26回全国街路事業コンクール 特別賞受賞

事業効果

整備前後の車の流れ

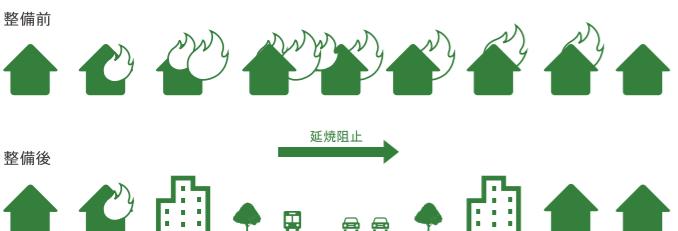


所要時間の短縮

補助第26号線から山手通りを結ぶ新たな道路ネットワークの形成により、所要時間が約1/2に短縮しました。

-48% 短縮
7'30" → 3'55"
整備前 (H24.2) 整備後 (H25.3)

火を通さない空間づくり



補助第46号線は、木造住宅密集地域の延焼遮断帯としての役割も兼ねており、市街地の延焼を防ぐ効果があります。



延焼遮断帯としての空間確保

生活道路の 安全性が向上

幹線道路をつなぐ道路が出来たことで、周辺の生活道路に迂回していた通過車両が減りました。
※後地交差点



消防活動も
しやすくなりました

ほんどの消防署員が
緊急出動時の移動がスムーズになったと答えました。
・緊急出動時の移動がスムーズになった
・一方通行が多い街区なので非常に便利になった
・道路が広くて走行しやすい

92.3%

※目黒消防署・荏原消防署へのアンケート

新たなまちづくりは
身近なまちの
安全にも役立ちます



補助第46号線は、山手通りと環状7号線を横断し、目黒通りに至る全長6.2kmの都市計画道路です。本事業区間には現道がないため、生活道路上に流入する通過交通が多い状況から、安全かつ安心して暮らせるまちづくりが求められていました。また、比較的低層の住宅が密集する地域でもあることから、災害時の避難場所への避難路等の確保が課題となっていました。本事業により、山手通りから補助第26号線を結ぶ新たな道路ネットワークが形成され、周辺道路の渋滞解消や生活道路への通過車両が減少しました。また、木造住宅密集地域における延焼遮断帯の形成とともに、災害時の避難経路、救護活動等の輸送経路が強化され、都市生活の利便性と安全性、防災機能の向上が図られました。今後、沿道の開発が促進されることで、地域の更なる発展に期待が寄せられています。

でかけよう 新たな移動手段に うまれかわりました

人にも環境にもやさしい
新たな交通手段の導入は
街の活性化への起爆剤となりました。



事業概要

事業名称 : 都市計画道路富山ライトレール線整備事業
路線名 : 富山ライトレール線
事業箇所 : 富山市牛島町~富山市永楽町
事業延長 : 1.1km
幅員 : 3.0m(軌道幅)
事業費 : 9億円
事業期間 : 平成17年~平成18年
第20回全国街路事業コンクール 会長賞受賞

事業効果

より利用しやすく

誰もが乗り降りしやすく、乗りたいときに乗れるようになりました。

低床車両の導入



都市と利用者への優しさを配慮し、全低床車両を一度に7編成導入。日本ではまだ例のなかった全車LRVによる運行にて事業を開始しました。



運行本数の増便



路面電車化に併せ、大幅な増便を行っています。
朝ラッシュ時は、現状の輸送量とともに10分間隔、デイタイムは沿線の利便性向上を目的に15分間隔の運行を行っています。

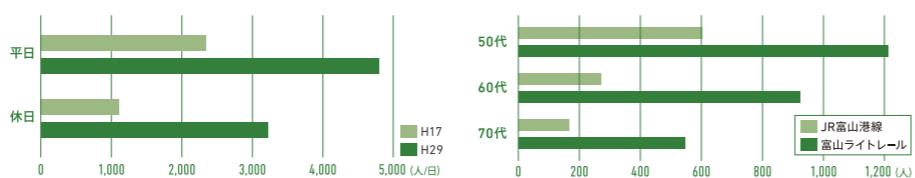
乗り場の増設



路面電車化による利便性を高めるため、新駅を2か所、新停留場を3か所設置しました。

利用者の増加

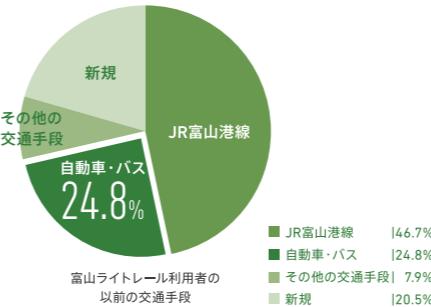
平日 約2.1倍 休日 約3倍 50代以上の利用者 UP



移動手段の転換や外出支援等にもつながったことで、着実に利用者数が増加しています。

環境に優しく

移動手段を転換し、環境負荷が軽減されました。



自動車・バスから ライトレールへ



沿線に住む人も増えました

利便性の高い街や沿線には、住む人も集まります。

富山ライトレール沿線 1.29倍
旧富山市区域 0.80倍



まちの人も
移動手段も若返る



富山市では、人口減少・超高齢化社会の到来や、環境問題が深刻化する中で、持続可能な都市を実現するため、これまでの自動車利用を中心とした拡散型の都市から公共交通を活用し都市機能を集約した「コンパクトなまちづくり」が求められています。そこで、誰もが自動車を使わなくても安心して快適に暮らせるまちづくりを目指すことをしています。本事業は、既存の富山港線区間を合わせた約7.6kmを富山ライトレール線とし、身近な公共交通機関として整備されました。これにより、自動車等からの交通手段の転換と外出機会の創出が図られました。

今後、この新たな富山ライトレール線が鉄道高架下を通り、駅南の既存の路面電車と接続されれば、鉄軌道の南北軸が構築され、富山市の公共交通ネットワーク形成と中心市街地の活性化に大きな役割を果たすことが期待されています。